



～ 令和3年度学校評価について ～



本校の学校教育目標「人間性豊かな氷丘っ子の育成ー自ら学び辛抱強く努力する心豊かな子ー」を達成するために、この一年間、教職員一丸となって教育活動を推進して参りました。その教育活動の達成状況やその達成に向けた取組の適切さについて評価することにより、学校として組織的・継続的に改善を図ることが、毎年実施している学校評価の目的です。

学校評価には、本校教職員による評価「学校自己評価」と、学校運営協議会委員の方々に行っていただく「学校関係者評価」があります。昨年度と同様に、本年度も実践目標の中の「重点事項4項目」に絞って、学校評議員のみなさんに関係者評価を行っていただきました。その結果を保護者の皆様等に公表することで、学校の成果や課題の共通理解を図りながら、次年度の学校運営の改善の向上に努めたいと考えています。

【 学校自己評価・学校関係者評価 】 評価基準 (A:ほぼ達成 B:7割程度達成 C:5割達成 D:達成には遠い)

重点事項	「確かな学力」を育成する学習指導の充実 ・基礎・基本の学力の定着 ・思考力・判断力・表現力を養う学習指導 ・協働的探究学習の推進 ・言語活動の充実	
学校自己評価	C	・協働的探究学習の研修実施。それ以前の学習規律や基礎基本の学力が低い児童が多い。支援が課題。 ・モジュールは継続し時数カウントをする。モジュールを入れない場合の時数カウントも行い、必ず標準時数を超えるよう意識する。(本年度は超えている)
学校関係者評価	C	・コロナの影響で教師の負担が増え多忙の中大変だったと思う。その中でも創意工夫されて教育活動を実施されている。今後も基礎基本を大切にしながら協働的探究学習を核とした授業改善を進め、学力向上に取り組んでほしい。勉強がわからないことは不登校の原因にもなるので今後も力を入れてほしい。 ・IT時代で書字能力が低下していると考えられる。今後、本を読み感想を聞く等の機会を意図的に設けていくことが大切ではないか。読書の時間を確保することが大切だと思う。 ・児童の学力と家庭の教育力は密接な関係にあると思う。
重点事項	「豊かな心」を育む道徳・人権教育の充実 ・あいさつなどの基本的な生活習慣の定着 ・集団や社会のきまりを守る態度の育成 ・いじめを許さない心の醸成 ・命を大切にする心の育成	
学校自己評価	B	・道徳を中心にローテーション授業を行う。道徳は1時間区切りの授業が多いこと、授業力向上の面で適していると考えられる。ローテーション授業を他教科にも拡大し、複数の教師の目で子どもたちをみる機会を増やす。 ・くすのき学級と交流学級の担任間コミュニケーションをさらに強化する。
学校関係者評価	B	・規律ある生活には日々の指導の積み重ねが大事。繰り返し指導して頂いている。今後も児童が自ら考え理解し、主体的な学習(考える道徳等)を推進し、実生活の中で生かし定着させてほしい。 ・学校だけの問題ではなく、地域全体で取り組んでいかないと。この2年間コロナ禍において地域で人権研修ができなかったことが大きく影響しているのかもしれない。 ・道徳の授業は本当に難しいと思う。ローテーション授業は適度な緊張感もあって先生だけでなく子どもたちにとっても良い効果が出るのではと思う。 ・明るい校風を感じられた。

重点事項	「健やかな体」を育む安全・健康教育の充実 ・計画的な体育授業の実践 ・感染症対策 ・学校管理下の事故対策 ・登下校時の安全対策	
学校自己評価	B	・スポーツテストの結果を踏まえ体育の学年年間計画を見直す。 ・エビペン研修を年1回から学期1回始業式後とする。あわせて、当該学年のエビペン所持児童を定期的に確認し、緊急時には誰もが滞りなく対応できるようにする。 ・交通指導員さんの欠員を出さないよう、地域と協力し次補を見つけておく。
学校関係者評価	B	・児童の健康や安全管理は教師の指導、家庭や地域の協力により効果をあげている。今後も危機意識を持って生活できる子の育成に取り組んでほしい。登下校の安全面についても、教職員の方がとても協力されているように感じる。子どもたちには、自分で自分の命を守るという意識を持ってほしいと思う。 ・この状況の中、2学級のみ学級閉鎖で収まっているのは日頃から感染症対策の指導が行き届いているからだと思えます。 ・有事が起こった時には人や物の運搬が大変だ。1箇所だけでもエレベーターがあった方がいいのではと思います。(要望)
重点事項	人間的なふれあいに基づいた生徒指導の推進 ・多面的な児童理解 ・いじめ対策の推進 ・人権教育の視点に基づいた生徒指導 ・組織的、計画的な生徒指導	
学校自己評価	A	・全ての教師が学年関係なく気軽に教室に入れるようにする。(全員で氷丘っ子を見守る姿勢を大切にする) ・指導の内容で統一すべきところをしっかりと統一する。いじめ等は、児童との個別の相談機会を増やし、未然防止に努め、組織的に協力して解決するよう心がける。
学校関係者評価	A	・支援学級の児童だけではなく、不安定になっている児童に対しても、よくしてくださっている印象です。 ・児童理解、情報の共有、組織的な対応等により早期発見、早期対応に努め効果をあげている。今後も児童の少しの変化も見逃さないよう意識して指導する事や心豊かな児童の育成に取り組んでほしい。 ・挨拶の声は2年前より小さくなったがコロナの影響だと思う。大人になれば社会に順応するだろう。 ・先生方が協力して毎年懸命に教育努力され、新しい考えをもって氷丘小学校がよくなるように前に進まれていることを有難く思います。 ・氷丘地区で特に力を入れられていると思われる。



今年度も「学校自己評価」と「学校関係者評価」の2つの「学校評価」で成果と課題が明確になりました。また、学校評議員の方々からは、学校運営についての提言もいただいております。令和4年度も、本年度の成果と課題、ご提言を踏まえながら本校の教育目標を達成するために、日々の教育活動をさらに充実させていきたいと思えます。

子どもたちの成長のために、本年度ご尽力いただきありがとうございました。今後ご理解とご協力をお願いいたします。

